

矢崎祭り①(大年社・犬射原社・御座石神社)

ぶらり 諏訪塾

宴の用意が整った事を伝える

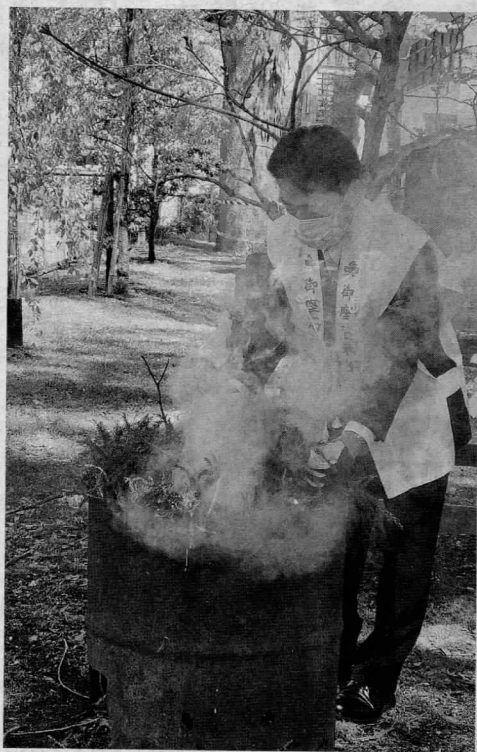
室町時代前期に書かれた諏訪大明神画詞に登場する諏訪社の年間祭祀の中で一風変わったお祭りがあります。現在のJR茅野駅から本町、城山の辺りにかけては「矢ヶ崎」と呼んでおり、上社神官の矢崎氏の領地であったと推測されます。

毎年4月27日には、今でも実際に狼煙を上げるという「矢崎祭り」が続いています。狼煙と言えば、戦国時代の武田信玄公の…と思いますが、すでに諏訪では宴の用意が整った事を矢ヶ崎から前宮の神官に伝えるのに狼煙が使われていたという記録に大変興味を持ちました。大きな祭祀の流れは以下

下の通りです。まず、饗宴の準備が整つと大年社で狼煙を上げ、その合図で上社の大祝以下神官が行列を作り、矢ヶ崎の地に繰り出します。

犬射原社では地域から集められた犬を的にした騎射が行われていたそうです。神話では、洲羽(スワ)の国に到着した建御名方命(タケミナカタノミコト)を母親の高志沼河比売命(コシヌナカワヒメノミコト)が歓待するため「どぶろく」を作つてもてなしたといわれています。

詳しい場所などの問い合わせは諏訪塾事務局(電話070・8323・2107)へ。



狼煙を上げる神社関係者 4月27日、大年社



今回の筆者



矢崎裕子さん

同人誌「蠨」会員。狼煙会やまちなか案内人などの市民活動を通じて修行中

- ぶらり諏訪塾の冊子は諏訪市観光案内所 (JR上諏訪駅内)
 - れすとらん割烹いずみ屋 (諏訪市諏訪)
 - 書店「言事堂」 (諏訪市末広)
 - すわ大昔情報センター (諏訪市博物館内)
 - 諏訪書店 (通販のみ)
- 57・0997) で販売中です。

定員は先着30人。運動ができる服装、上履き、飲み物、ヨガマットか大きめのタオルを持参する。申し込みは市ホームページからながの電子申請サービスで8月22日まで受け付ける。問い合わせは市教委事務局スポーツ課(電話57・2811)へ。